

「社長年齢」分析調査（福島県）2023 年

県内企業の社長の平均年齢 61.3 歳、 高齢化止まらず「過去最高」を更新

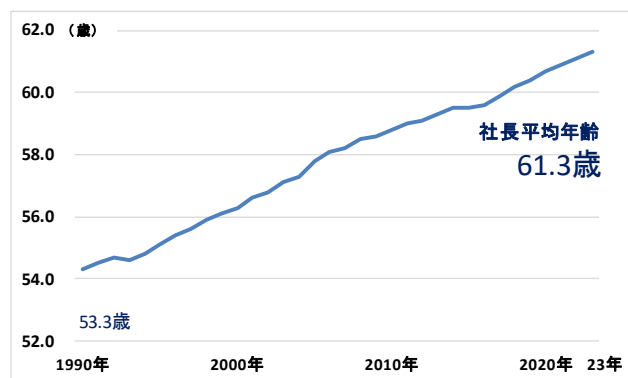
～ 8 割以上が「50 歳以上」、「不動産」の高齢化が顕著 ～

平均年齢（福島県）

「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025 年問題」まで、残すところ 1 年を切った。

帝国データバンクが実施した調査では、2023 年における福島県の後継者不在率は改善傾向が続き過去最低の 46.1% となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社

長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。



企業概要ファイル「COSMOS 2」（約 147 万社収録）から、2023 年 12 月時点における福島県内企業（14,039 社）の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

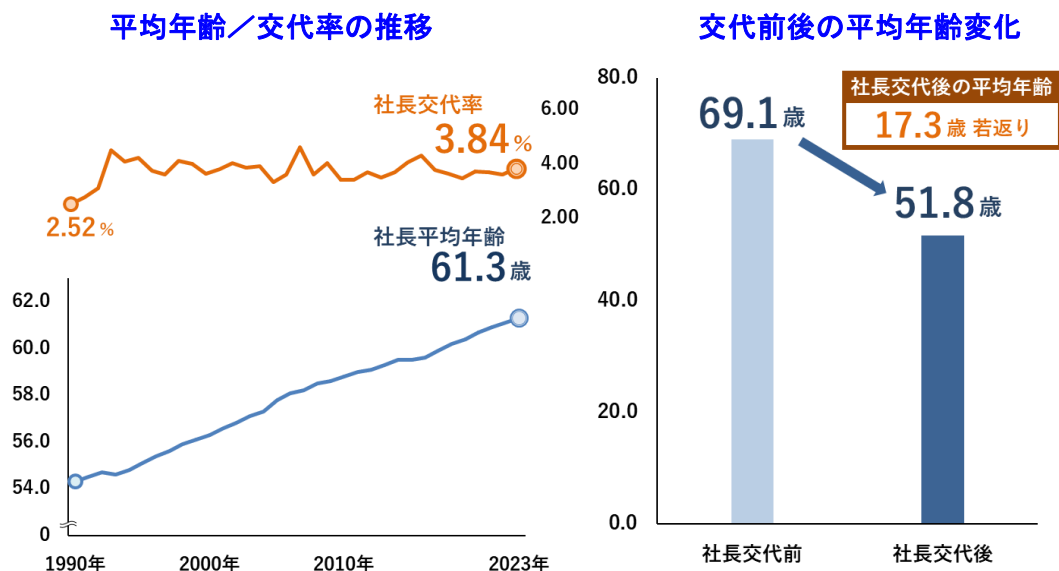
調査結果（要旨）

- 福島県内企業の社長の平均年齢は 61.3 歳。前年を 0.2 歳上回り、過去最高を更新。社長が交代した割合は 3.84%、前年から大きく変わらず 7 年連続の 3% 台
- 年代別でみると、「50 歳以上」の社長は 8 割超、「40 歳未満」の若手経営者は 2.5% にとどまる
- 業種別でみると、「不動産」が 64.5 歳で最も高い。「小売」（62.3 歳）、「卸売」（62.1 歳）、「製造」（61.4 歳）と、福島県全体の平均年齢（61.3 歳）を上回る。

1. 県内企業の社長の平均年齢は 61.3 歳、過去最高を更新

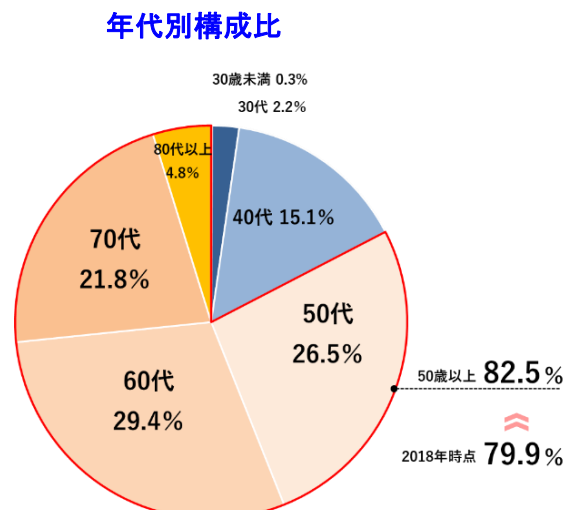
福島県内企業の社長の平均年齢は、統計として遡れる 1994 年から上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2023 年は前年比 0.2 歳上昇の 61.3 歳となった。加えて、2023 年における前年からの社長交代率は 3.84%にとどまっており、7 年連続で 3% 台の低水準が続いている。総じて、社長の世代交代に関して以前より活発な様子は見られず、社長の高齢化はさらに進行しているといえよう。

社長が交代する際の年齢は平均で 69.1 歳となり、高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうなかで、県内の企業は 70 歳前後で後継者にバトンタッチをしている結果となった。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 51.8 歳であった。



2. 「50 歳以上」の社長が 8 割超と高水準

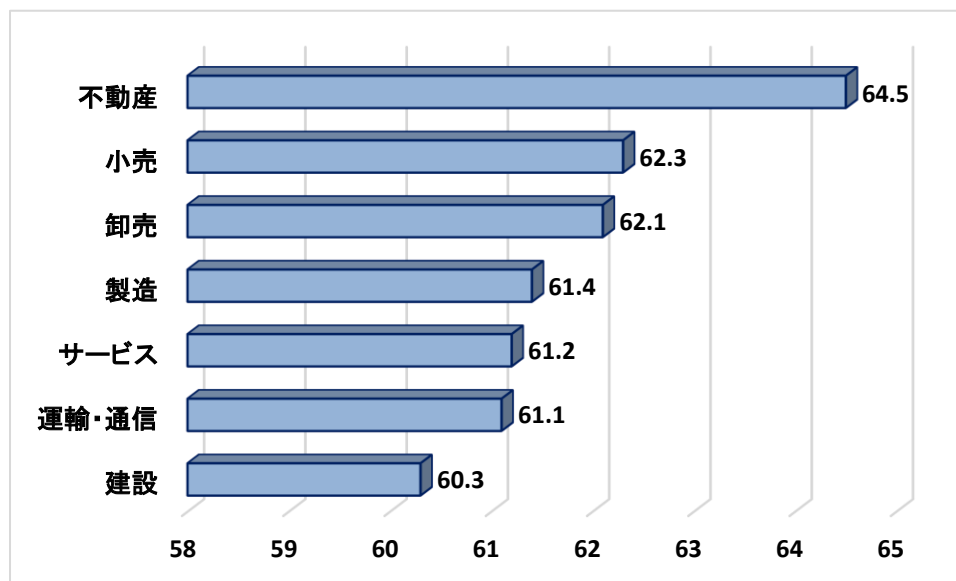
2023 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 82.5%となり全体の 8 割以上を占める結果となった。「40 歳未満」は 2.5%、なかでも「30 歳未満」はわずか 0.3%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。



3. 「不動産」が 64.5 歳で高水準、前回調査から 0.3 ポイント上昇

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 64.5 歳で最も高かった。また、「小売」（62.3 歳）、「卸売」（62.1 歳）、「製造」（61.4 歳）も福島県全体の平均年齢（61.3 歳）を上回った。

平均年齢（業種別）



今後の見通し

県内企業の社長の平均年齢は上昇傾向が続き、過去最高を更新した。2023 年の社長交代では 17.3 歳の若返りがみられたものの、交代率は 3.84% と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、さらに社長平均年齢は上昇しそうだ。

こうした結果を踏まえ、社長の「高齢リスク」にはさらなる警戒が必要だ。社長の高齢化が進めば、不測の事態が生じる可能性は自ずと高まる。円滑な事業承継を確実に進めていくためには、計画的かつ余裕のある準備が必要となろう。

株式会社帝国データバンク 郡山支店

【問い合わせ先】 神尾友勝 024-923-2442（直通）

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。